

小白浜地区

復興まちづくり協議会・地権者連絡会

議事要旨

記

■開催日時：令和元年10月31日（木） 14時30分～15時44分

■開催場所：唐丹地区生活応援センター

■次第

1. 市長挨拶
2. これまでの経緯
3. 最新の土地利用計画について
4. 漁具置き場整備について
5. コミュニティーグラウンド（仮称）整備について
6. 公園環境整備について
7. 消防屯所について
8. 今後の工事スケジュールについて
9. 住宅再建に係る補助制度等について
10. 防潮堤について
11. 意見交換

意見交換（住民から市への質問と回答）

質問 1

今回の台風 19 号のような想定外の雨に対する治水対策はどのように考えているのか。

回答

普通の道路、河川の場合は雨水量を確率で計算し、水路の断面や道路の構造をつくっております。一部報道でも案内されておりますが、最近は予測できないゲリラ的な豪雨などもあり、その確率計算での道路、河川の改修がもう想定の中に入っていないのではないかという専門家の意見もございます。そういった意見も広く伺いながら、今後対策を行っていかねければならないと考えております。

質問 2

今度の大雨で、山で伐採された木などが川や道路に流れてきているが、沢水が流れるところや、川のそばなどに丸太等を置かないような法律的な規制などはないのか。

回答

伐採した木などは、林業関係者と、地権者が両者合意の基その山に置くという形になっております。今後またこのような大雨などの際には急斜面のところ等、影響が出そうなところはなるべく外へ出すなど、その時々に応じて対応していただければと考えております。

質問 3

林業関係機関でそういう林業関係者になるべく沢水が流れる付近や川が流れ出そうな場所に丸太等を置かないようお願いをしたらどうか。

回答

林業関係の方々には、丸太等が流れてこないような対策を講じていただくよう申し出をしていきたいと考えております。

質問 4

第 1 陸閘、第 2 陸閘は遠隔操作ができると思うが、第 3 陸閘の水門はどのようにになるのか。

回答

第 3 陸閘につきましては、起立式、浮体式といいまして、水が来ると上に浮かぶ形で、L 型に浮き上がって閉じるというような構造になっております。

質問 5

途中までしか上がってないような感じがするが、本当に浮くのか。

回答

実験等ではきちんと上まで立って、周りと一緒にできるようになっております。

質問 6

唐丹地区にも早くデイサービスなどの介護施設を整備していただきたい。

回答

現在、事業者にはこの唐丹地区で事業を展開していただきたいということで相談をしております。釜石市としては唐丹地区にも介護施設が必要だという前提で物事を考え、できるだけ早く対応をしていきたいと考えております。

質問 7

今回避難所になっている学校の体育館が浸水したということで、津波の際は体育館でよいと思うが、大水の際の避難所は浸水しない頑丈な所のほうがよいのではないか。

回答

体育館が浸水したと考えられる原因の空気孔や建具には、水が入らないよう対策をいたしました。また、側溝もうまく機能するようにグレーチングと呼ばれる網のようなものに取り替えさせていただき、水が入らない対策をとらせていただきます。

当面の間は児童館の 2 階と学校の校舎を含めて避難所として使うということで調整をしております。

質問 8

2 階だと階段があり、高齢者には大変なのでそこを考えてもらいたい。

回答

安全確保するためには高いところに上がってもらうことも必要ですので、車椅子の方や、ひざが痛い方となれば福祉避難所など違う場所も含めて早めに相談いただいて避難していただきたいと考えております。

質問 9

どこに避難するといっても、車がない場合はバスなどしか交通手段がないので、そういうところも考えてもらいたい。

回答

雨が降り出してから避難ではもう遅い状況だということを理解していただき、台風が明日、明後日来るといふことであれば、公共交通機関を使ってでも早く避難するということをお自分たちでも考えていただきたいと思ひます。また、入りづらひような避難所につきましては、釜石市といたしましても今後検討していきたくて考えております。

質問 10

バス停に雨風をしのげる程度の構造物をつくってほしい。

回答

バス停の整備のご要望はかなりありますので、年次計画の中で少しずつ整備している状況です。引き続き生活安全や地域交通のことでお皆さんとお話しする機会もあると思ひますので、そういったときにもご要望を言っていただければ、市の中で調整するときに配慮できると考えております。

【野田市長閉会挨拶】

今日はたくさんの方においでをいただきまして、いろんなご意見いただきました。本当にありがとうございました。

今回はちょっと想定を越した雨というか、天気予報ではいまだかつてない特別豪雨災害だということですから、事前からどんな災害になるのかなと不安でいっぱいでしたが、やっぱりそのとおりの災害になってしまいました。

先ほどから何回もお話ししておりますが、これからはこういう災害がしょっちゅう来るという前提でいろいろと対策を講じていくということで我々としても頑張っていきますので、ぜひ皆さんのほうでもそれぞれのところで気がついたところがあればお願いをしたいと思います。

避難場所が大変だと、ひざかぶが痛くて2階へ上がれない、これはそのとおりのことです。みんなそうおっしゃってしまひて、千鳥町はこの間の台風で腰まで皆さん水が来て、消防署の皆さんがボートに乗せて助けてあげたのですが、その方々の集まりがあつて、どうするのだという話があつたのですが、やっぱり避難場所ですよね、なかなか皆さん避難場所に行けないということで、あそこがいいんじゃないか、ここがいいんじゃないかという話をしておりましたけれども、まず1つは役所がこうだといつたからといつて、そこしかないということではないのです。もし親戚とか、友達とか、そういう方が安全な場所に住んでい

たらば、そこに行ってもいいのです。何も釜石市がここが避難場所だといったから、2階に上がったり、3階に上がったりしなければならぬようなところにわざわざ行かなくてもいいのです、無理しなくてもいいのです。安全なところ、自分で判断して、そこに行っただけでも、それも避難ですから。ただ、そうはいつでもそんなに親戚いるわけではないし、そんな安全なところに友達がいるわけではないから、やっぱり市役所が言ったところだと、こうなるわけでございますので、そこは我々としても重々承知しながら、できるだけ皆さんの負担にならないようなところを選んでやっていきたいと思いますが、いずれここがいいなと思うところは、ここは津波だ、こっちがいいなと思うと山津波だと。結局どこののだとなると、なかなかないのです。さっき危機管理の担当者から話がありましたけれども、避難場所となりそうな場所は何カ所かあるのですが、その災害によって使えるところと使えない場所があって、これが大変なのです。間違っって市役所のほうでここだと言いながら、大雨が来て、そこが浸水したらどう責任とるのだと言われるから、市役所も慎重にならざるを得ないのですが、ただこれが課題であることはもう重々承知しております。

先ほどお話がありましたとおり、2階は大変だといっても、大雨が来れば、やっぱり上のほうに上がったほうがいいので、そこは何とか応援センターの人とか皆さんに手伝ってもらいながら、今のところはそういう方法しかないかなと思っております。

それからもう一つ、要援護者といいますか、体の不自由な方々は誰かが助けるといふふうになっているわけですが、これもまだ全部のところまで行き着いていなくて、やっているところとやれてないところがたくさんございます。これも早くやらなければならないと思っておりまして、今日本当はまちづくり協議会のほうだったのですが、ちょっと話がずれてしまいましたけれども、いずれこれが一番の大事な課題だと、自分の命は自分で守るしかないのです、市役所もいろいろ頑張りますが、市役所の言うことを余り信じないほうがいいときもあるわけですよ。間違ふときもあるから、やっぱり隣近所みんなで相談しながらやってみようしかないかなと思っていました、今のところはですよ。ただ、できるだけ我々も間違いない情報を出すために一生懸命努力します。

今、気象情報がすごく精度がよくなって、昔は釜石全体が大雨が降るという情報だったりした場合にも、釜石全体といったって、うちはさっぱり降らないなと思ってもどこかで降っている、これが今まで、以前の気象情報だったのです。今は唐丹に降るぞというとならず唐丹に降るのです。大橋に降るぞというとならず大橋に降るのです。これだけ気象庁の情報の精度が高くなってまして、そののところにちゃんと情報が来るようになりました。だから、うちの危機管理課のほうでは、甲子川が氾濫するおそれがあるから、そののころの人たちは早く逃げてくれとか、唐丹のほうは危ないぞと、こっちのほうの人たち逃げてくれと、その地域だけ防災行政無線で放送しているのです。全部に放送するときもありますが、まずは一番

危険なところに集中的に放送していると。そこがちょっと今までと違うところでございます。それだけ精度が高くなっていますので、釜石市からの情報を余り信じるなどさっき言いましたが、限りなく精度は高くなっているということをぜひ記憶していただければと思います。

いずれ今日はいろんなお話がありましたけれども、先ほど申し上げました法面のところから水が流れるという方もおられました。個別の案件のところはちゃんと帰り際にお話ししていただいて、現場を見ながら今後の対応を考えていきたいと思っておりますし、今日いただいたご意見についてはきちんと受けとめさせていただきたいと思っております。

それから、さっきバス停の話がありました。バス停は本当は県交通がつくるものなので、バス会社のバスです。ところが、今幹線、支線のうち支線については釜石がやりますよとなったので、幹線はバス会社がやることになっているのですが、なかなかバス会社もつくってくれないものですから、あれ全部釜石でつくっているのです。釜石駅前にあたり、鈴子にあたり、前は釜石高校のところが生徒が雨の中濡れているものですから、県交通に何回言ってもつくってくれないので、仕方なくて釜石でつくっているのです。けれども、1個つくるのに100万円ぐらいかかるものですから、毎年全部というわけにはいかないので、少しずつだったのですが、今回幹線、支線になり、支線のほうは市の責任になってしまいましたので、ちょっと考えていかなければならないなと思って、今ちょっと聞いていました。

いずれ今日いただいたことについては、持ち帰ってちゃんと対応したいと思います。どうぞ小白浜地区の皆さんにおかれましても健康で、そして長生きして、よりよい安全な暮らしができるようにぜひお願いをしたいと思います。今日は本当にありがとうございました。

【司会】

以上でまちづくり協会終了いたします。お疲れさまでした。